

「まちづくりグランドデザイン推進事業」における その他の検討会議の進捗状況

○都市拠点等の在り方検討会議

京丹後市総合計画及び都市計画マスタープランに掲げる都市拠点等の整備に向け、本検討会議を設置。令和3年度は、しんざん小学校隣接地について検討。令和4年度は、基本構想（基本計画）の策定及びその他都市拠点に必要な公共機能等を検討

【委員12人、4回予定（令和3年度）】

第1回：令和3年10月14日（木）開催

（主な議題）検討会議の役割・検討スケジュールの確認、都市計画等まちづくりや都市機能及びネットワークについての共通理解

第2回：令和3年11月16日（火）開催

（主な議題）しんざん小学校隣接エリアについて（目標、土地利用方針等）

○庁舎増築棟整備基本計画検討会議

京丹後市庁舎整備検討委員会の答申等に留意した庁舎整備を進めていくため、本検討会議を設置し、基本計画を策定

【委員12人、4回予定】

第1回：令和3年 9月27日（月）

（主な議題）これまでの庁舎整備及び庁舎再配置の経過、検討会議の役割と開催スケジュール、庁舎増築棟整備についての専門家からの知見紹介と共通理解

第2回：令和3年11月 5日（金）

（主な議題）庁舎増築棟整備基本計画（案）の検討について（基本理念及び基本方針、基本方針に基づく導入機能、建物配置、峰山総合福祉センターの在り方、集約化等についての意見交換）

第3回：令和3年12月13日（月）

（主な議題）庁舎増築棟整備基本計画（案）の検討について（基本理念及び基本方針、基本方針に基づく導入機能、建物配置、峰山総合福祉センターの在り方、集約化等についての意見交換、確認）



～持続可能なまちづくりグランドデザイン～

京丹後市の地域拠点となる庁舎増築棟整備における市民サービスの向上・SDGsの達成とその先の未来社会へ

2021. 12. 13

1. 目的・増築棟の位置づけ(案)

京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成の内、峰山地域拠点の形成を実現する。



2. 基本理念の設定

庁舎増築棟の整備については、SDGsの達成やその先の未来社会を見据えるとともに、Society5.0、脱炭素社会の実現等の世界的潮流も踏まえ、市民が快適に利用できる空間の整備による市民の交流促進、ICT環境を整備した市民開放スペース、災害対応、脱炭素・ゼロカーボンの推進など、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりを進めるために必要な機能を導入するとともに、職員の労働環境の改善等も図れるものとする。

■持続可能な開発目標SDGs



■Society5.0



■脱炭素でレジリエントな社会



2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球の誰一人取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、新たな社会(Society)のこと。IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータ等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく、多様なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供。

人の活動に伴って発生する温室効果ガスの排出量と吸収作用の保全及び強化により吸収される温室効果ガスの吸収量との間の均衡が保たれ、災害や気候変動等への対応力・回復力のある社会。

出典：外務省庁より

出典：内閣府庁より

出典：資源エネルギー庁 脱炭素化に向けた次世代技術・イノベーションについて より

3. 基本計画の位置づけ

基本計画は今後の設計段階において、より詳細な検討を行う上での指針となり、必要な条件を示すものとなる。目的や基本理念を実現するため、具体的な施設計画や、建設手法などを明らかにする。

4. 基本理念に基づく基本方針

基本理念と5つの基本方針の概念図

基本理念 幸福を中心軸に 未来への活力を創造する 京丹後のまちづくり拠点



幸福を中心軸に 未来への活力を創造する 京丹後のまちづくり拠点

5. 増築棟の規模

比較検討を行い最適案を整理する。

6. 建設計画 ※増築棟以外の施設整備範囲の整理・駐車場計画等も含む

比較検討を行い最適案を整理する。

7. 事業費及び事業スケジュール

比較検討を行い最適案を整理する。

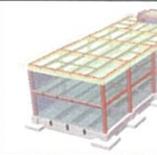
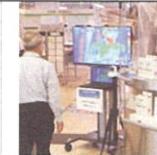
4. 基本理念に基づく基本方針

基本方針における導入機能の検討例

基本方針1 協働・共創のまちづくり ～人が輝き歴史と文化を育む愛着あふれる庁舎～

								SDGs 目標
誰もが気軽に立ち寄れるまちに開かれたエリア	市民の憩いの場、ワーキングスペースとしても利用	各支所窓口と画面上で繋がり、どこにいても同じサービスを受ける	ICT環境を整備した市民開放スペース(リモート会議スペース等)	子どもたちの居場所となるスペース(自習、交流等)	子育てママの授乳室やおしゃべりコーナー	ワーケーション拠点の整備	他企業と相互・連携できるイノベーションの拠点となる場づくり	17 気候変動に具体的な対策を 4 質の高い教育をみんなに 9 産業と地域経済の循環 성장을 11 持続可能な住環境を

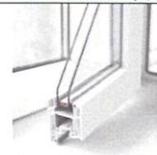
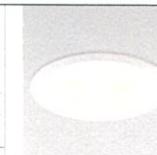
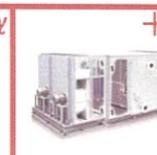
基本方針2 市民と地域を守る ～災害に強く、安心安全な庁舎～

								SDGs 目標
自家発電設備の採用	頻発する自然災害(洪水)への止水対策として止水板による対応	災害時に対策本部を設置できる柔軟なスペースを確保	重要度係数1.5(通常の約1.5倍の耐震性能)を確保	出入口の自動検温システムの採用	通常時 災害時 ベッドに早変わり 災害時利用を想定した家具や素材を選定	飛沫感染防止のための個別ブースの採用	災害対策用マンホールトイレ	13 気候変動に具体的な対策を 7 持続可能なエネルギーを 9 産業と地域経済の循環成長を 11 持続可能な住環境を

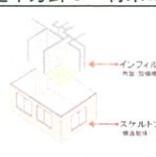
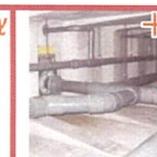
基本方針3 すべての人にやさしい ～わかりやすく、使いやすい庁舎～

								SDGs 目標
ひと目で全体が見渡せ、視認性が良いオープンフロア	誰にでもわかりやすいビクトサイン等を用いた視認性のあるサイン	国籍、使用言語に関わらず、誰にでも使いやすい多言語対応	職員ワークラウンジ課を横断した打合せ、休憩、食事等フレキシブルに対応可能なスペース	様々な設備を備えた多機能トイレ	様々な障害や配慮の必要な人にも対応した設備や表示	一度のタブレット入力で、複数の手続きが可能なICT活用の窓口	誰にでも使いやすいジェンダーレストイレ	3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を促進し 10 人や国の不平等をなくす 11 持続可能な住環境を

基本方針4 脱炭素社会の実現を目指す ～まち、自然、環境に調和した庁舎～

								SDGs 目標
市民の目によく触れる部分には積極的に木材を使用	太陽光発電パネルの採用	Low-Eガラスの採用	節水型機器の採用	エコポイドによる重力換気	LED照明、人感センサーの採用	ZEB(Net Zero Energy Building)の取得を目指す	高効率空調機器の利用	7 持続可能なエネルギーを 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう

基本方針5 将来の変化に柔軟に対応できる ～機能的で合理的な庁舎～

								SDGs 目標
将来の間仕切り変更に柔軟に対応できるスケルトンインフィル	移動間仕切壁による柔軟性のある空間	規格寸法の家具を使用し、無駄なスペースを取り除き、コスト削減	机モジュールを統一し、人事移動の際に余計なレイアウト変更が不要	庁内LANの整備及びICTを活用したサービス等の見える化の仕組み	将来、民間利用も想定した汎用性のある執務室	業務内容に合わせて、働く場所が選べる執務室	将来の設備更新に配慮し、床下に設備専用のスペースを設置	8 豊かさを増やし、持続可能な開発を実現 5 ジェンダー平等を促進し 9 産業と地域経済の循環成長を 12 つくる責任